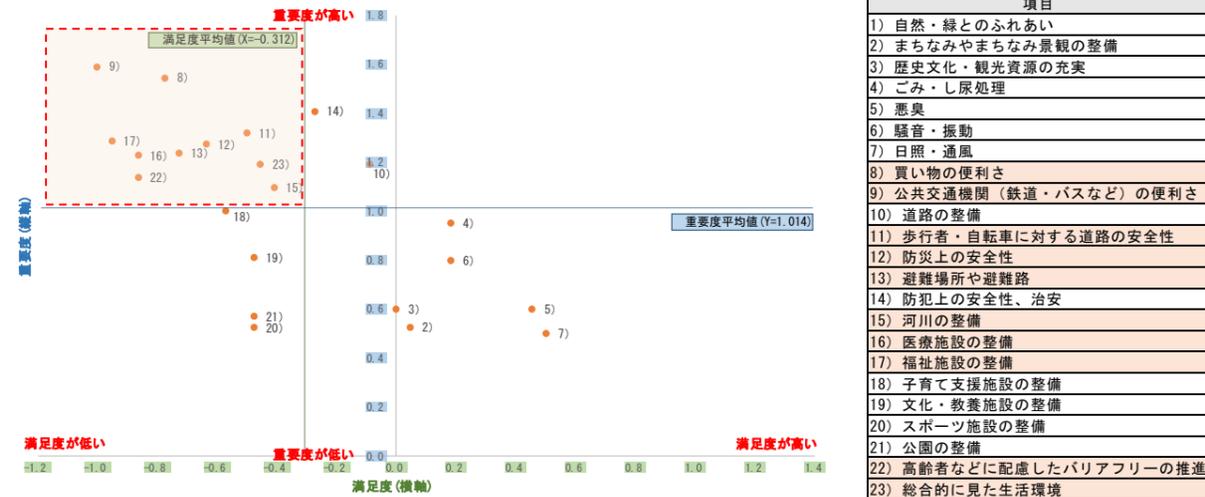


## 1. 市民アンケート・地域別説明会の意見等

### 1-1 市民アンケート結果（愛発地域のみ）

- 「居住地域における生活環境」では、平均より重要度は高いが満足度が低い項目として、「9）公共交通機関（鉄道・バスなど）の便利さ」、「17）福祉施設の整備」などの10項目があがっています。



- 「居住地域における現在の土地や建物の状況」では、「空き家が増えてきた」の割合（82.6%）が最も高くなっています。
- 「敦賀市の今後のまちづくりの方針」では、「雪や災害に強いまちづくりを進める」の割合（23.1%）が最も高くなっています。

### 1-2 第1回地域別説明会における意見等

- 令和2年2月26日（水）に愛発公民館にて開催された区長会にて説明しました。参加人数：9名。
- 主な意見等は以下のとおりです。

土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローソンの跡地がトラクターヘッドの置き場になっている。</li> <li>相続がうまくいっていない場合もあり、土地の売買ができない状態のところもある。</li> <li>愛発地域に工場ができることに反対はしない。</li> </ul>
農地・森林	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地も休耕地が増え、鳥獣の被害もある。</li> </ul>
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>「愛発駅」と駅名を変更してほしい。</li> <li>駅名を変更することにより、観光客が愛発駅で下車し観光すれば、地域の活性化につながる。</li> </ul>
人口減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家の増加、高齢化が進んでおり、一人暮らしの高齢者もいる。</li> <li>また、世帯数は変わらなくても戸数は少なくなっている。</li> </ul>

## 2. 現行計画の評価

- 平成21年度に改訂し、2020年をもって将来目標年次を迎えた現行計画について、市関係各課の実績をヒアリングし、達成状況を評価しました。

（新たな計画から追加します）

## 3. （1・2を踏まえた）地域における現況と課題

- 愛発舟川の里の整備が実施されています。
- 旧北陸線の鉄道遺産の魅力を伝えるストーリーが日本遺産として認定されました。
- 地区別空き家の割合が1番多いです。
- 急傾斜地の指定箇所が多く点在しています。
- 農業の後継者不足による休耕地の増加がみられます。【地元】
- 鳥獣被害があります。【地元】
- 国道8号パイパス沿いの空き地、遊休農地の活用が求められます。
- 企業進出することについて、地元住民として反対はしません。【地元】

## 4. まちづくりのテーマ・将来に担うべき都市機能

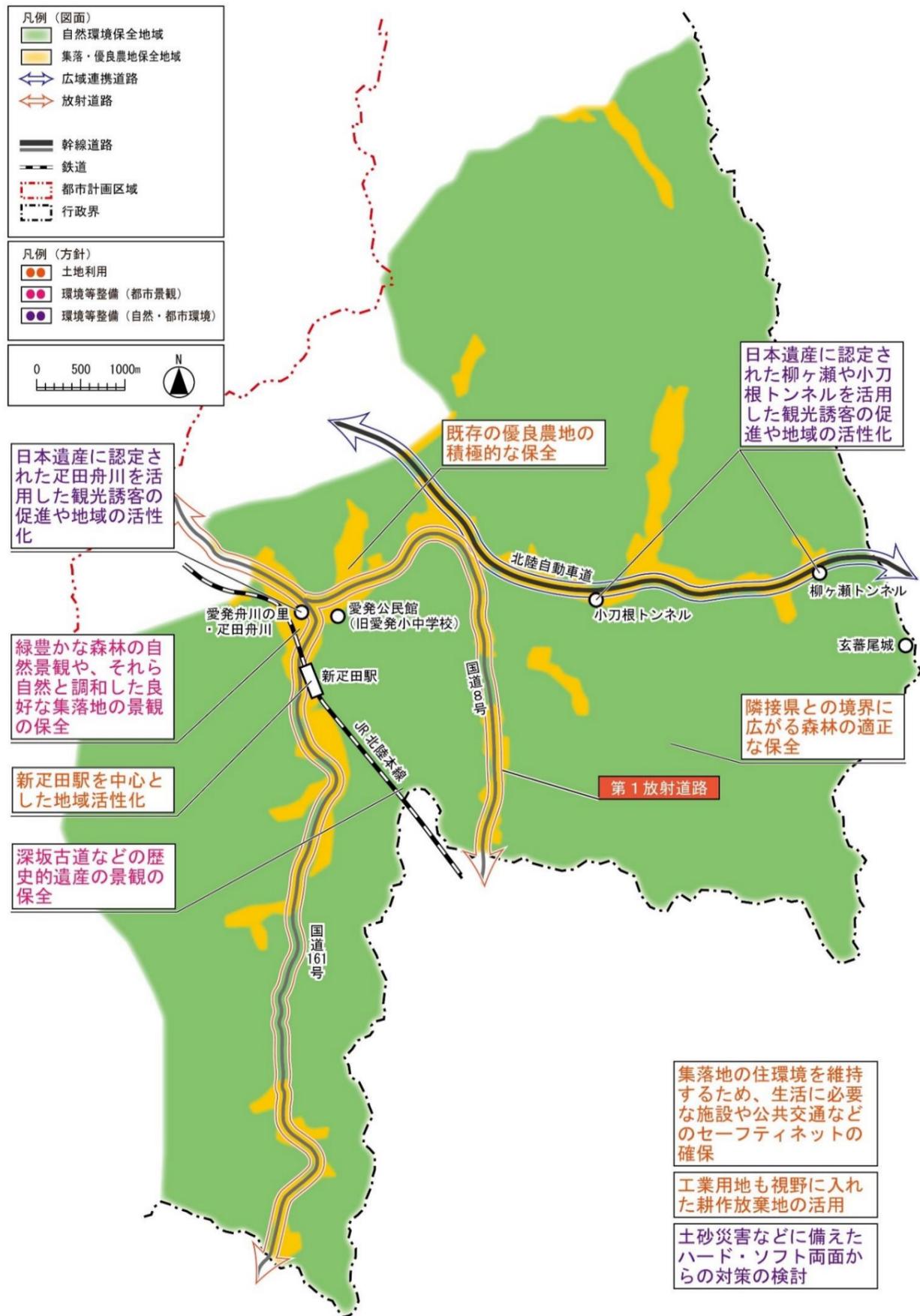
### 4-1 まちづくりのテーマ

緑豊かな自然環境と歴史・文化を受け継ぐまち

### 4-2 将来に担うべき都市機能

●歴史漂う街道集落文化の継承	<p>地域コミュニティを維持し、愛発舟川の里など舟川にまつわる歴史の継承を図ります。</p> <p>&lt;基本的な考え方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域コミュニティ維持のほか、愛発舟川の里など歴史的空間の維持や舟川にまつわる歴史の継承が求められています。</li> </ul>
●自然環境の維持・保全	<p>急傾斜地の指定箇所の存在や鳥獣被害などに留意しながら、豊かな自然環境を維持・保全します。</p> <p>&lt;基本的な考え方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>急傾斜地が地区に多くみられ、自然災害による崩壊防止策や、鳥獣被害による対策等が求められています。</li> </ul>
●幹線道路沿いの土地活用	<p>国道8号や国道161号沿いの空き家・空き地や遊休農地の活用などにより、幹線道路沿道の賑わいづくりとともに、雇用の促進を図ります。</p> <p>&lt;基本的な考え方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>愛発全域が都市計画区域外であるが、国道8号沿いなどの空き地や遊休農地の活用など住民意見を踏まえて、郊外部への企業進出を図ります。</li> </ul>

5. まちづくり方針図と各種方針（案）



愛発地域 土地利用の方針



用途地域外

自然環境保全地域

- 隣接県との境界に広がる森林については、今後も適正に保全

集落・優良農地保全地域

- 既存の優良農地については、国の各種制度などを活用しながら、積極的に保全
- 集落地の住環境を維持するため、生活に必要な施設や公共交通などのセーフティネットを確保
- 愛発地域の玄関口となる新疋田駅を中心とし、人々の往来や交流を促進しながら、地域の活性化を図る
- 積極的な保全、かつ工業用地も視野に入れた耕作放棄地の活用検討

愛発地域 環境等整備方針

都市景観



- 緑豊かな森林の自然景観や、それら自然と調和した良好な集落地の景観保全
- 旧北陸線の鉄道トンネルや深坂古道、玄蕃尾城などの歴史的遺産の景観保全

自然・都市環境



- 土砂災害や雪害などに備え、ハード・ソフト両面からの対策検討
- 日本遺産に認定された疋田舟川、柳ヶ瀬や小刀根トンネルなどを地域の歴史文化を伝える観光資源として活用し、観光誘客の促進や地域の活性化

## 敦賀市都市計画マスタープラン策定に関する第2回地域別説明会（愛発地区） 開催結果

### ■開催概要

開催日	時間	場所	参加人数
1月21日（木）	19:00～20:30	愛発公民館	6人



### ■参加者からの意見等

	意見	回答
●全体構想の方針（案）		
交通体系の方針		
道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛発地区から市内へ、市内から中心市街地や市役所の方へ行く道路の整備をお願いしたい。</li> <li>国道8号敦賀バイパスから市役所まで入り込む道を入れてもらうなど、市内へ入りやすい道を作ってほしい。（例：トンネル温泉入口～PS横～木の芽橋～アピタ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道8号バイパスから新幹線敦賀駅へ行く県道が事業化され、整備が進められている。</li> <li>市街地と郊外を結ぶ環状道路は、現行計画同様、新たな計画の中でも記載していきたい。</li> </ul>
●地域別構想の方針（案）		
土地利用の方針／集落・優良農地保全地域		
公共交通・高齢福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛発地域はほぼ限界集落になりつつあり、スーパーもコンビニも遠い。</li> <li>地域住民で、高齢者に対するボランティア活動を行っているが、バスや宅配サービスなど、高齢者が生活しやすいような政策があると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落地に生活されている方に対し、生活に必要なコミュニティバスといったセーフティネットを確保するというを、計画に盛り込みたい。</li> <li>近くに買い物できる場が少ないという課題は認識しており、計画を通じて具体的な施策が打ち出されていくものと思う。</li> </ul>
環境等整備方針／交通体系		
道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>小河口の4車線化をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き国土交通省との協議を進める。</li> </ul>
環境等整備方針／自然・都市環境		
防災・道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>雪害で高速が通行止めになると8号線が混雑するため、市民だけが通るような迂回路があるといい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の整備や除雪については、担当部局とも協議しながら進めていきたい。</li> </ul>
農地・森林	<ul style="list-style-type: none"> <li>水路を山水から引っ張っているが、急傾斜地のため必ず雨が降るたびに土石流が発生する。</li> <li>土砂の撤去を行政をお願いしても、前回行ったからと言われ、結局自分で撤去しなければいけない。</li> <li>農地を含めて、水や山まで保全してもらえれば、愛発地区や中山間に特化した政策をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の中で、農地保全の方針を掲げることにより、それに関連した対策を、農業に関する計画にも反映できればと思う。</li> </ul>

文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛発区長会としては、「愛発」という名前がなくなったという点を一番懸念している。</li> <li>愛発駅をつくってほしい。</li> <li>「ここは愛発」という見やすい看板を区長会でも作成したいが、費用と設置場所が問題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算とタイミングを合わせ、いかに進めていくかというところが課題であると思っている。</li> <li>毎年、市から JR 西日本金沢支社等に対して、ダイヤの改正等について要望している。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>深坂古道は、追分のバス停のところ雨が降ると、道が川になって上りにくい部分があるが、歩く人が結構いる。</li> <li>県の史跡に指定されている疋壇城について、疋壇城を後世に残す会を作って、有志で草刈りをしているが、高齢化が進み、放置気味になってきている。</li> <li>疋壇城の石垣がだんだんと壊れかかっているが、大切にし、後世に残していければよい。</li> <li>こういったことも含めて、深坂古道や疋壇城といった文化遺産をマスタープランの中で保全してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛発地区の歴史深い部分を大事にしていくため、まちづくりのテーマを「受け継ぐまち」と設定したい。</li> </ul>
観光・文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>南越前町から長浜までの旧駅跡の中で、疋田駅の石垣だけが残っているのので、観光プランの一つとして保全してほしい。</li> </ul>	—
●その他		
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>在来線の普通列車や新快速も新幹線敦賀駅に入ることにはできないのか。</li> <li>敦賀の駅は2つも要らないし、乗り換えも便利になるのではないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこに JR の路線を入れるかというのは、基本的には JR が中心となって考える形になると思う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来、在来線が第三セクターにあるということだが、在来線の長浜・米原方面の連絡が非常に悪い。</li> <li>京阪神-近江塩津間を新快速が走っているが、近江塩津駅での待ち時間の間に敦賀まで持ってきてもらえないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年、市から JR 西日本金沢支社等に対して、ダイヤの改正等について要望している。</li> <li>待ち時間が長いということも含めて、また改めて来年度要望させていただきたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新疋田の上りホームの待合室に、クーラーが付けてあったが、それが壊れて現在はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当課を通じて、JR に連絡するように伝えておく。</li> </ul>